

中南米理解講座/中東理解講座を開講します

ジャパンファウンデーションでは、第一線で活躍する専門家の方々を講師にお招きし、海外の国や地域を多様な視点から取り上げた連続講座を実施し、毎回人気を博しています。2006年度第3期(2007年1月～3月)は、中南米・中東理解講座を以下のとおり開講いたします。

<p>ラテンアメリカ文学は何を語ってきたか？(全10回) 毎週月曜日(1月15日～3月26日) コーディネーター：野谷 文昭(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)</p>	<p>ガルシア＝マルケス、ボルヘス、カルペンティエル、アルゲダス、パス、プイグといった中南米の作家や詩人の作品を新たな切り口で読み直すことにより、これまで見えなかった魅力や特徴を浮かび上がらせ、それらを生んだラテンアメリカという地域との関係について考える。</p>
<p>現代中米・カリブ情勢の読み方(全10回) 毎週木曜日(1月18日～3月22日) コーディネーター：小池 康弘(愛知県立大学外国語学部助教授)</p>	<p>中米・カリブ地域は、ヨーロッパ列強による植民地争奪戦の舞台となり、歴史的な共通性も多いが、「民族のデパート」でもある。また、政治的には親米と反米の狭間を揺れ動き、経済的には繁栄と貧困が同居している。このように一見混沌としたこの地域の最近の情勢を読み解いていく。</p>
<p>中東における民主化の諸相(全9回) 毎週水曜日(1月17日～3月16日) コーディネーター：酒井 啓子(東京外国語大学大学院地域文化研究科教授) *3月16日は日本教育会館にて開催</p>	<p>近年、中東特にアラブ諸国の民主化の遅れが指摘されているが、何故民主化が進まないのか。シリア、エジプトでは長期独裁政権が、サウジアラビアでは保守的王制が続いている。一方、戦後のイラクやレバノン、占領下のパレスチナでの選挙は、政治のイスラーム化をもたらしている。本講座では中東諸国における民主化の現状、市民社会のありようを論じる。</p>
<p>中東・西アジア都市周遊 今を生きる歴史都市(全10回) 毎週金曜日(1月19日～3月23日) コーディネーター：林 佳世子(東京外国語大学外国語学部教授)</p>	<p>世界で最も古い都市文明の歴史をもつ西アジアは、イスラム文化に根ざした共通性をもつ一方、個々の都市の個性も際立っている。本講座では、西アジア・イスラム文化圏の都市を舞台に展開した政治や宗教運動、あるいは、交易や芸術活動、そして現在の都市が抱える諸問題を多角的にとらえる。</p>

中南米理解講座 http://www.jpf.go.jp/j/culture_j/topics/cyuananbeirikai/

中東理解講座 http://www.jpf.go.jp/j/culture_j/topics/tyutorikai/

開催時間：各講座とも 19:00～20:30 定員：100名

会場：国際交流基金国際会議場

*3月16日の「中東における民主化の諸相」のみ日本教育会館(千代田区一ツ橋)

受講料：全10回分 10,000円(JFサポーターズクラブ会員 8,000円、会員で学生の方 5,000円)

全9回分 9,000円(JFサポーターズクラブ会員 7,200円、会員で学生の方 4,500円)

お問い合わせ先：異文化理解講座事務局:(財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 赤坂1丁目森ビル4階

Tel. 03-5562-0756 Fax. 03-5562-4423